

# 社協サービスのご案内

## 通所介護事業(デイサービス)



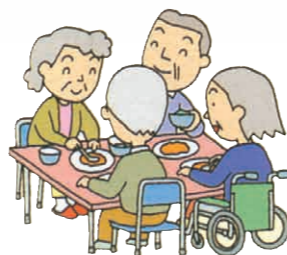
デイサービスセンターまで送迎し、入浴や食事の提供等、日常生活上の支援や生活行為向上のための支援を日帰りで行う、デイサービスを提供いたします。

社協のデイサービスセンターは、利用者の方に安心して楽しく、快適な一日を過ごしていただけるよう、事業所それぞれの特色を活かしたサービスの充実に努めております。ご利用については、ケアマネジャー、サービス事業所へお気軽にご相談ください。  
※ご見学にも随時応じます。

事業所名	所在地	市外局番(0229)	営業日時等
古川西部デイサービスセンター◎	大崎市古川保柳字中江1番8号	26-4400	年中無休 8:30~17:15
古川大宮デイサービスセンター◎	大崎市古川大宮七丁目2番3号	21-3105	
鹿島台デイサービスセンター ゆうゆう館◎	大崎市鹿島台平渡字上敷19番7号	56-9413	
鹿島台大迫デイサービスセンター	大崎市鹿島台大迫字入ノ川13番11号	57-1223	月~土 8:30~17:15
古川中央デイサービスセンター◎	大崎市古川三日町二丁目5番1号	24-5161	
古川南デイサービスセンター◎	大崎市古川小稲葉町8番20号	21-1201	
岩出山あったか村デイサービスセンター	大崎市岩出山字下川原町100番8号	72-5051	
鳴子デイサービスセンター ◎	大崎市鳴子温泉字末沢1番地	82-3012	
オニコウベデイサービスセンター◎	大崎市鳴子温泉鬼首字宮沢53番地の1	86-2727	月~金 8:30~17:15
松山デイサービスセンター	大崎市松山千石字広田11番地	55-4546	

## 地域密着型認知症対応型通所介護

認知症の方を対象に、入浴や食事の提供等、専門資格を有した職員が日常生活上の支援や生活行為向上のための支援を日帰りで行う、デイサービスを提供いたします。



事業所名	所在地	市外局番(0229)	営業日時等
古川福寿館デイサービスセンター	大崎市古川大宮七丁目2番3号	21-3106	年中無休 8:30~17:15

## 平成24年度 おおさき福祉教育推進セミナー ~やさしさ・支え合い・助け合うところを育む福祉教育~

日時：平成24年8月8日(水) 会場：大崎市古川保健福祉プラザ 多目的ホール  
55名参加(大崎市内24校参加)

主催：社会福祉法人 大崎市社会福祉協議会  
協力：コミュニティ・4・チルドレン  
後援：大崎市・大崎市教育委員会・(株)大崎タイムス社



学校と地域が連携を図りながら地域社会全体で取り組む福祉教育の実践について学ぶことを目的に、大崎市内の学校教職員・社協職員・福祉教育に関心のある方を対象とし、「おおさき福祉教育推進セミナー」を開催しました。



福祉・ボランティア活動協力校の鬼首小学校、古川西中学校より、キャップハンディ体験学習、募金・チャリティ活動、地域清掃等、両校で取り組んでいる福祉教育の実践活動についての事例発表をいただき、「地域住民の方々と深く関わることで、自然とボランティア精神などを育てている」、地域でのプルタブ集めで「学校だけでなく、公民館などにも回収ボックスを置き、地域の方々にも協力してもらっている」等、具体的な活動の状況もうかがえました。



大崎市内の事例発表後に、全国で取り組まれている福祉教育について、コミュニティ・4・チルドレン 桑原 英文 代表理事から「福祉教育は今…「助けるvs助けられる」から「助け合う人や地域」へ」を表題に講演。「福祉教育とは、一人では、家族の力だけでは目の前の問題を解決することが困難な人たちと一緒に課題解決のために、知恵と力を発揮し、地域における共生の文化を創造する総合的な活動」と話し、実践事例として高知県南国市の取り組み、これまでの福祉教育の課題を挙げ、地域一体で取り組む福祉教育(中には防災教育)の推進に向けて「子供たちが地域と一体となり学べるような取り組みが必要」と力説されました。



その後、「大崎のこれからの福祉教育について」をテーマに、参加された先生方と一緒にディスカッション(※ワールドカフェ)を行い、福祉教育の進め方や社協に対しての意見や要望など、忌憚のない意見交換がなされ、参加者からは「他校の活動内容を聞くことができ、もっとこのような情報交換の場がほしい」「社協が身近になった」「これからどんどん相談していきたい」などのご意見を頂戴いたしました。

当社協としても、学校との情報交換や交流の場として今後も開催していき、これからの福祉教育へ活かして参りたいと思います。



### ※ワールドカフェ

「カフェ」のような空間でこそ、お互いリラックスしてオープンに本音を語ることでネットワークが自然と広がり、共通理解を深めます。そうした「カフェの会話」をデザインした話し合いの手法として、世界中で活用されています。